

令和6年度の広島県における生徒指導上の諸課題及び不登校等の現状について

1 要旨・目的

文部科学省が、「令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」を公表したことを受け、本県の状況を取りまとめた。

2 現状・背景

児童生徒の問題行動等について、広島県内の状況を調査・分析することにより、学校における生徒指導上の諸課題の改善に向けた取組の充実を図り、児童生徒の問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応につなげていく。

3 概要

(1) 調査対象

県内の国公私立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校・中等教育学校

(2) 調査期間

令和6年度

(3) 調査結果

別紙のとおり

(4) 課題分析

令和6年度は、暴力行為の発生件数、いじめの認知件数及び長期欠席児童生徒数、中途退学者数については、前年度と比較して増加しているが、不登校児童生徒数については減少している。

【暴力行為】

- 暴力行為発生件数は、小・中学校ともに増加しているが、特に、中学校の増加率が高くなっている。
- 暴力行為の増加の要因について、市町教育委員会からの聞き取りによると、からかいやふざけ合いがエスカレートし、相手を押す、肩を叩き合う、故意にぶつかるなどの身体接触を伴う行為が増加傾向にあることや、人間関係、学習のつまずき、家庭環境などに起因する不安や悩み、ストレスがきっかけとなり、感情をコントロールすることができず、物に当たる行為等が上昇傾向にあることなどが挙げられた。
- また、教職員が児童生徒や学校環境の小さな変化も見逃さず、丁寧に関わり、軽微な段階で認知し、積極的に計上してきたことも、発生件数が増加したことの要因であると考えられる。

【いじめ】

- いじめの認知件数は増加している。各学校におけるいじめ発見のきっかけでは、「学級担任が発見すること」や「児童生徒が直接教職員に相談すること」が、前年度比で増加していることから、計画的、定期的な面談やスクールカウンセラー等の専門家との連携により、安心して相談できる教育相談体制が機能していることなどにより、積極的な認知につながっていると考えられる。

【不登校】

- 不登校児童生徒数は、近年、増加傾向が続いていたが、令和6年度は、前年度と比べ、小学校は増加が続いているものの、中学校、高等学校で減少し、全体としては、若干減少している状況である。
- 小学校の増加の背景として、学校において特別な配慮を必要とする児童、特に、学業の不振に関する早期からの適切な指導や必要な支援、生活リズムの不調等を抱える児童に対する保護者や関係機関等との連携による支援が十分でなかったものと捉えている。

(5) 今後の対応

【暴力行為】

- 暴力行為については、生徒指導主事研修等において、学級・ホームルーム集団のよりよい人間関係づくりに係る未然防止の取組を充実させること、また、課題に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家や関係機関等と連携するなどして、課題が生起した背景要因を丁寧に探り、児童生徒一人一人の特性を踏まえた、計画的・組織的・継続的な指導・支援を行う。

【いじめ】

- いじめやいじめの疑いのある事案を把握した場合の初期対応については、「いじめ防止委員会」で教職員が情報を共有し、速やかに事実関係を整理するとともに、学校組織として対応方針を決定した上で、被害児童生徒の心のケアや安全確保を行い、保護者とも丁寧な連携を図りながら取り組むとともに、犯罪行為として取り扱われるべきいじめ事案は、早期に警察に相談・通報することや、日常的に相談などを行うことができる連携体制の構築に向けて、引き続き、指導していく。

【不登校】

- 不登校SSR推進校やSCHOOL“S”等におけるこれまでの取組をより充実させていくことに加えて、学習のつまずきの要因等の丁寧な把握・分析を通じた支援や保護者への相談支援・情報提供の充実、関係機関の活用等を図るなど、引き続き、新たな不登校を生じさせない取組を重視し、不登校等児童生徒の社会的自立を支援していく。

4 その他（関連情報等）

県ホームページ

令和6年度の広島県における生徒指導上の諸課題の現状について

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/r06syokadaitop.html>

令和6年度の広島県における生徒指導上の
諸課題及び不登校等の現状について

令和7年11月

広島県教育委員会

目 次

令和 6 年度の広島県における生徒指導上の諸課題及び不登校等の状況について（概要）	1
生徒指導上の諸課題及び不登校等の年次推移（R 2 年度～ R 6 年度）	2
国公立小・中・高等学校（全日制・定時制・通信制）における暴力行為発生件数等の年次推移（R 2 年度～ R 6 年度）	4
国公立小・中・高等学校（全日制・定時制・通信制）・特別支援学校におけるいじめ認知件数等の年次推移（R 2 年度～ R 6 年度）	5
国公立小・中学校における長期欠席者数等の年次推移（R 2 年度～ R 6 年度）	6
国公立小・中・高等学校（全日制・定時制）における不登校児童生徒数等の年次推移（R 2 年度～ R 6 年度）	7
国公立高等学校（全日制・定時制・通信制）における中途退学者数等の年次推移（R 2 年度～ R 6 年度）	8

※小学校には義務教育学校前期課程、中学校には義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程、高等学校には中等教育学校後期課程を含む。以下同様。

令和6年度の広島県における生徒指導上の諸課題及び 不登校等の状況について（概要）

1 暴力行為の発生件数

- (1) 国公立小・中・高等学校（全日制・定時制・通信制）の合計は4,452件で、前年度と比較すると532件（13.6%）増加した。
- (2) 校種別に前年度と比較すると、小学校では2,695件で241件（9.8%）増加、中学校では1,589件で319件（25.1%）増加、高等学校では168件で28件（14.3%）減少した。
- (3) これまでのピークであった令和5年度（3,920件）と比較して、532件（13.6%）増加した。
- (4) 小学校において8年連続、中学校では4年連続増加した。

2 いじめの認知件数

- (1) 国公立小・中・高等学校（全日制・定時制・通信制）・特別支援学校の合計は8,384件で、前年度と比較すると1,955件（30.4%）増加した。
- (2) 校種別に前年度と比較すると、小学校では5,884件で1,484件（33.7%）増加、中学校では2,297件で470件（25.7%）増加、高等学校では192件で2件（1.1%）増加、特別支援学校では11件で1件（8.3%）減少した。
- (3) 平成30年度（7,435件）をピークとし、一旦減少したが、その後増加傾向となり、令和6年度においては、これまでピークであった平成30年度（7,435件）を949件（12.8%）上回った。

3 長期欠席者数

- (1) 国公立小・中学校の合計は12,081人で、前年度と比較すると133人（1.1%）増加した。
- (2) 校種別に前年度と比較すると、小学校では5,372人で173人（3.3%）増加、中学校では6,709人で40人（0.6%）減少した。
- (3) これまでのピークであった令和4年度（12,364人）と比較して、283人（2.3%）減少した。

4 不登校児童生徒数

- (1) 国公立小・中・高等学校（全日制・定時制）の合計は10,581人で、前年度と比較すると183人（1.7%）減少した。
- (2) 校種別に前年度と比較すると、小学校では3,559人で179人（5.3%）増加、中学校では5,179人で183人（3.4%）減少、高等学校では1,843人で179人（8.9%）減少した。
- (3) これまでのピークであった令和5年度（10,764人）と比較して、183人（1.7%）減少した。
- (4) 小学校では9年連続増加した。

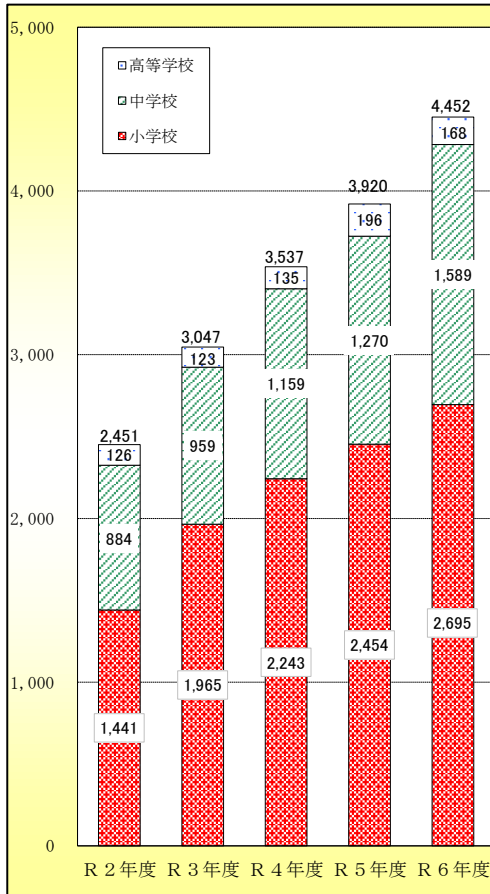
5 中途退学者数

- (1) 国公立高等学校（全日制・定時制・通信制）の合計は1,073人で、前年度と比較すると60人（5.9%）増加した。
- (2) 平成18年度（1,870人）のピークと比較して、797人（42.6%）減少した。

生徒指導上の諸課題及び不登校等の年次推移（Ｒ２年度～Ｒ６年度）

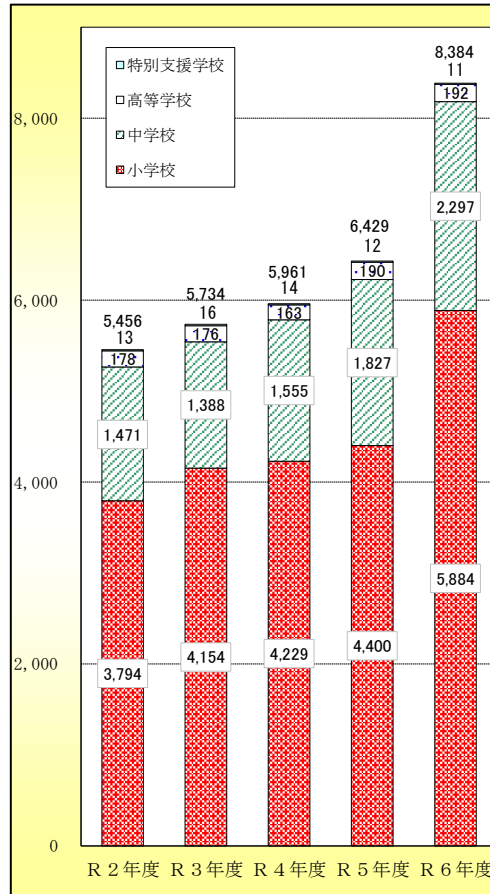
１ 暴力行為の発生件数（件）

国公立小学校、中学校、高等学校（全日制・定時制・通信制）の合計



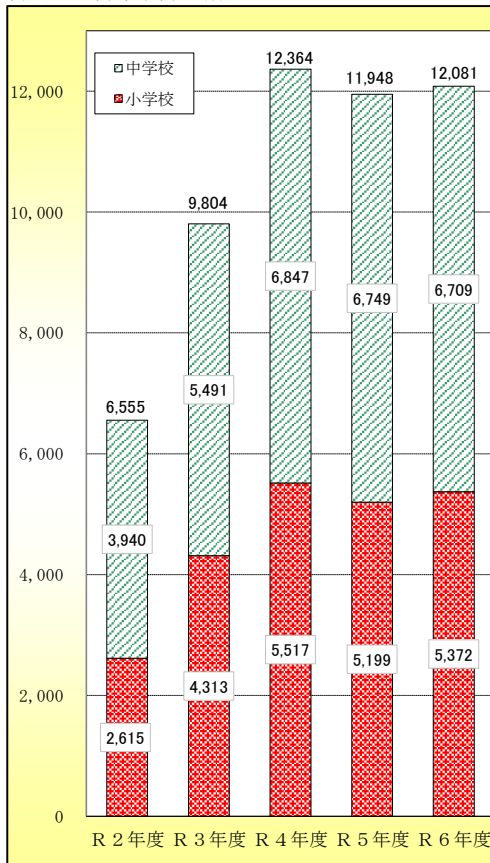
２ いじめの認知件数（件）

国公立小学校、中学校、高等学校（全日制・定時制・通信制）、特別支援学校の合計



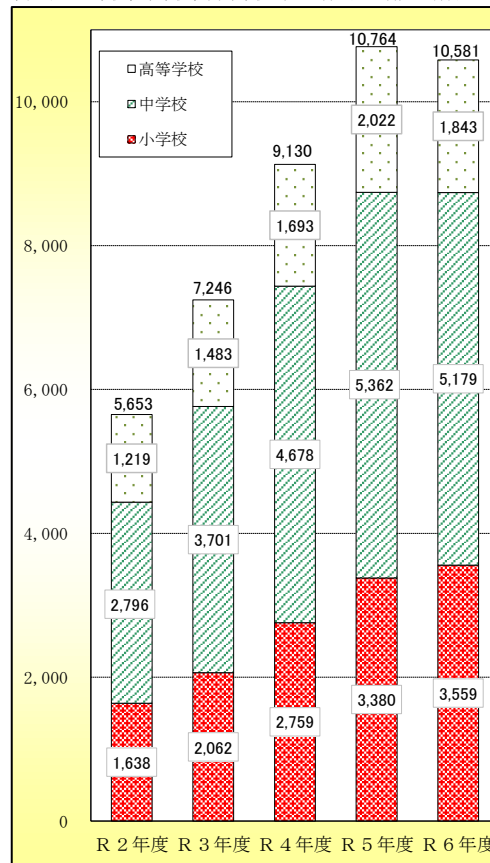
３ 長期欠席児童生徒数（人）

国公立小学校、中学校の合計



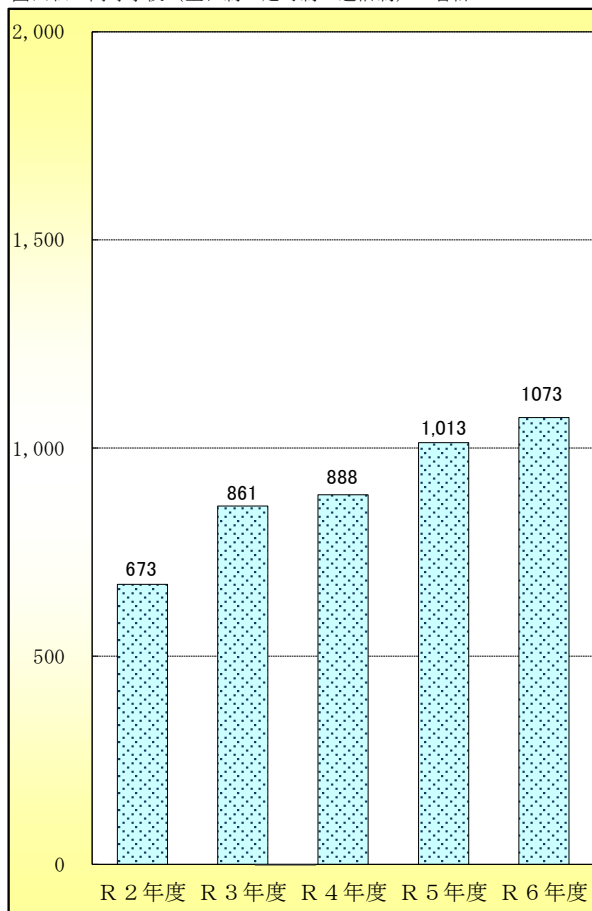
４ 不登校児童生徒数（人）

国公立小学校、中学校、高等学校（全日制・定時制）の合計



5 中途退学者数（人）

国公立高等学校（全日制・定時制・通信制）の合計



本県の国公立学校における生徒指導上の諸課題のこれまでのピークとの比較

区分	これまでのピーク		令和6年度	増 減	
	年度	発生（認知） 件数・人数	発生（認知） 件数・人数	発生（認知） 件数・人数	割合
		a	b	b-a	(b-a)/a × 100
暴力行為	令和5年度	3,920件	4,452件	532件	13.6%
いじめ	平成30年度	7,435件	8,384件	949件	12.8%
長期欠席	令和4年度	12,364人	12,081人	△283人	△2.3%
不登校	令和5年度	10,764人	10,581人	△183人	△1.7%
中途退学	平成18年度	1,870人	1,073人	△797人	△42.6%

※国公立の小・中・高等学校での暴力行為、いじめの調査は平成18年度から実施

※国公立高等学校の不登校の調査は平成16年度から実施

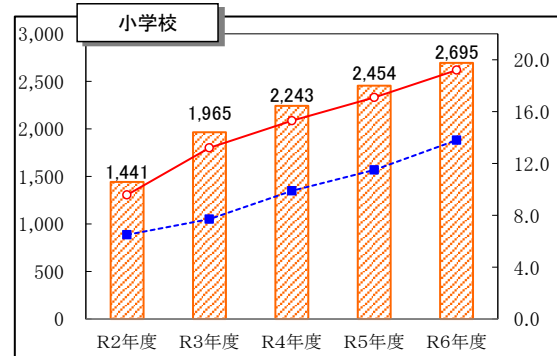
※国公立高等学校の中途退学の調査は平成17年度から実施

暴力行為

国公立小・中・高等学校（全日制・定時制・通信制）における暴力行為発生件数等の年次推移（R2年度～R6年度）

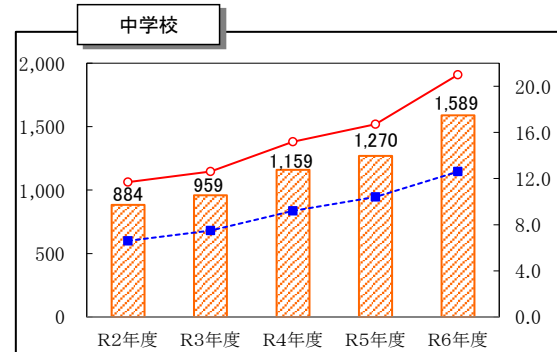
小学校

区 分	発生件数	1,000人当たりの発生件数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)
令和2年度	1,441	9.6	6.5
令和3年度	1,965	13.2	7.7
令和4年度	2,243	15.3	9.9
令和5年度	2,454	17.1	11.5
令和6年度	2,695	19.2	13.8



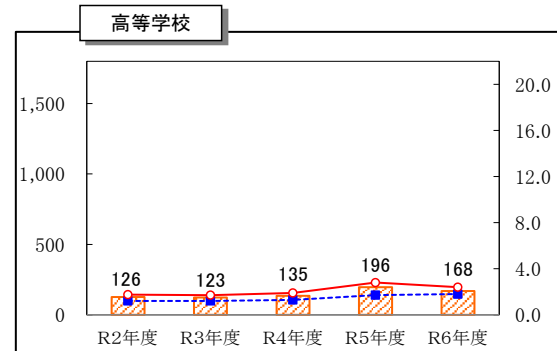
中学校

区 分	発生件数	1,000人当たりの発生件数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)
令和2年度	884	11.7	6.6
令和3年度	959	12.6	7.5
令和4年度	1,159	15.2	9.2
令和5年度	1,270	16.7	10.4
令和6年度	1,589	21.0	12.6



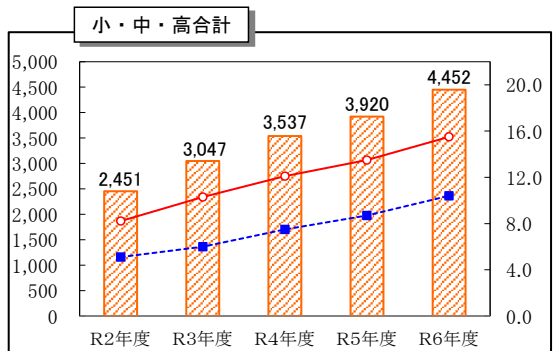
高等学校

区 分	発生件数	1,000人当たりの発生件数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)
令和2年度	126	1.7	1.2
令和3年度	123	1.7	1.2
令和4年度	135	1.9	1.3
令和5年度	196	2.8	1.7
令和6年度	168	2.4	1.8

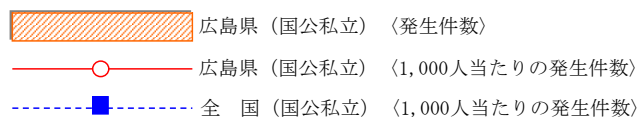


小・中・高合計

区 分	発生件数	1,000人当たりの発生件数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)
令和2年度	2,451	8.2	5.1
令和3年度	3,047	10.3	6.0
令和4年度	3,537	12.1	7.5
令和5年度	3,920	13.5	8.7
令和6年度	4,452	15.5	10.4



※ 凡例共通



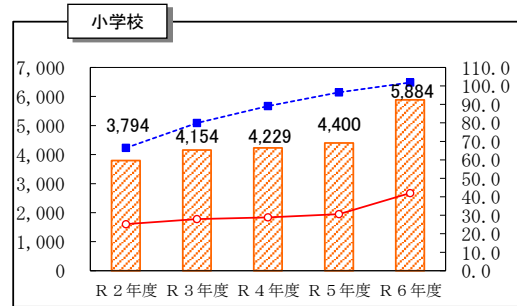
（注） 1,000人当たりの発生件数は、小数第二位を四捨五入している。

いじめ

国公立小・中・高等学校（全日制・定時制・通信制）・特別支援学校における
いじめ認知件数等の年次推移（Ｒ２年度～Ｒ６年度）

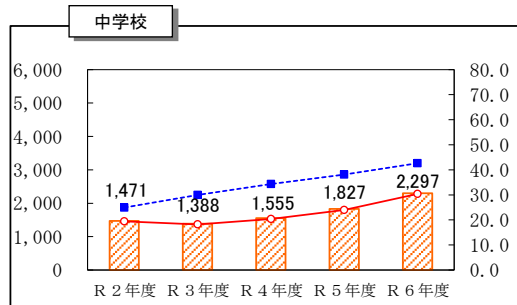
小学校

区 分	認知件数	1,000人当たりの認知件数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)
令和２年度	3,794	25.2	66.5
令和３年度	4,154	27.9	79.9
令和４年度	4,229	28.9	89.1
令和５年度	4,400	30.7	96.5
令和６年度	5,884	42.0	101.9



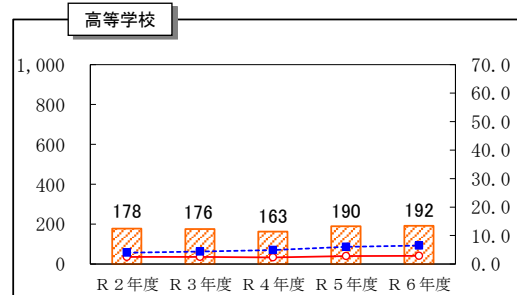
中学校

区 分	認知件数	1,000人当たりの認知件数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)
令和２年度	1,471	19.5	24.9
令和３年度	1,388	18.2	30.0
令和４年度	1,555	20.4	34.3
令和５年度	1,827	24.0	38.1
令和６年度	2,297	30.4	42.6



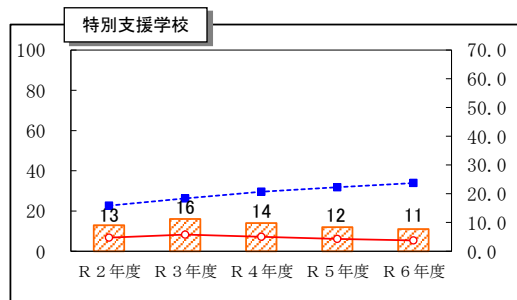
高等学校

区 分	認知件数	1,000人当たりの認知件数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)
令和２年度	178	2.5	4.0
令和３年度	176	2.5	4.4
令和４年度	163	2.3	4.9
令和５年度	190	2.8	6.0
令和６年度	192	2.9	6.5



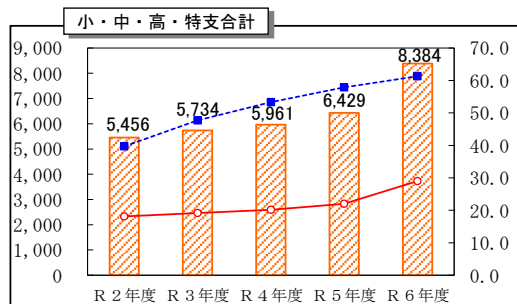
特別支援学校

区 分	認知件数	1,000人当たりの認知件数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)
令和２年度	13	4.8	15.9
令和３年度	16	5.8	18.4
令和４年度	14	5.0	20.7
令和５年度	12	4.3	22.3
令和６年度	11	3.8	23.7

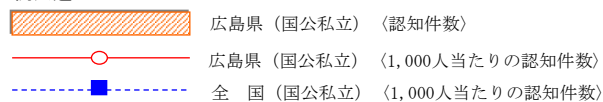


小・中・高・特支合計

区 分	認知件数	1,000人当たりの認知件数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)
令和２年度	5,456	18.1	39.7
令和３年度	5,734	19.2	47.7
令和４年度	5,961	20.1	53.3
令和５年度	6,429	22.0	57.9
令和６年度	8,384	29.0	61.3



※ 凡例共通



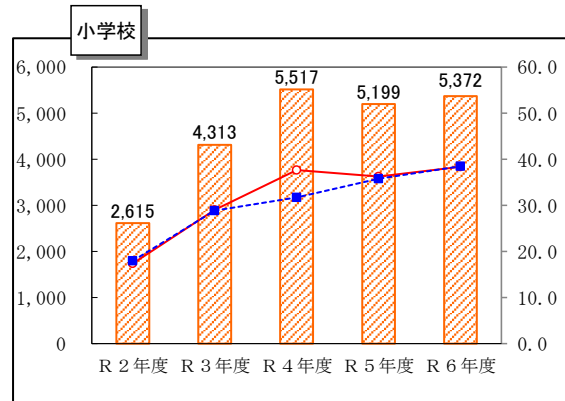
（注） 1,000人当たりの認知件数は、小数第二位を四捨五入している。

小・中学校長期欠席

国公立小・中学校における長期欠席者数等の年次推移（R2年度～R6年度）

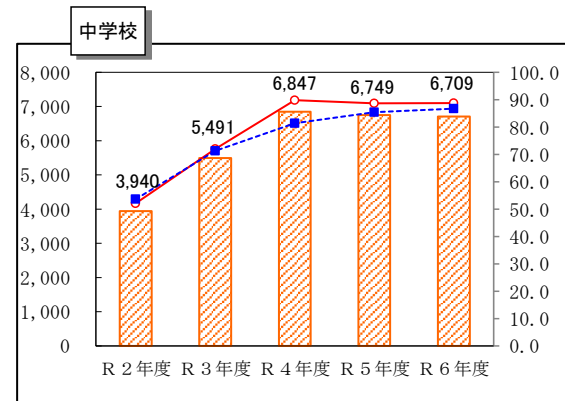
小学校

区 分	長期欠席児童数	1,000人当たりの長期欠席児童数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)
令和2年度	2,615	17.4	18.0
令和3年度	4,313	29.0	28.9
令和4年度	5,517	37.7	31.7
令和5年度	5,199	36.2	35.8
令和6年度	5,372	38.4	38.5



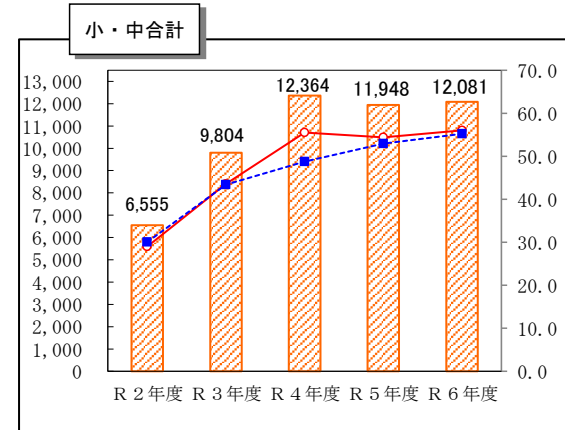
中学校

区 分	長期欠席生徒数	1,000人当たりの長期欠席生徒数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)
令和2年度	3,940	52.1	53.6
令和3年度	5,491	72.0	71.3
令和4年度	6,847	89.8	81.3
令和5年度	6,749	88.7	85.4
令和6年度	6,709	88.7	86.7



小・中合計

区 分	長期欠席児童生徒数	1,000人当たりの長期欠席児童生徒数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)
令和2年度	6,555	29.0	30.0
令和3年度	9,804	43.6	43.4
令和4年度	12,364	55.5	48.8
令和5年度	11,948	54.4	52.9
令和6年度	12,081	56.0	55.2



※ 凡例共通

- 広島県（国公立）〈長期欠席児童生徒数〉
- 広島県（国公立）〈1,000人当たりの長期欠席児童生徒数〉
- 全 国（国公立）〈1,000人当たりの長期欠席児童生徒数〉

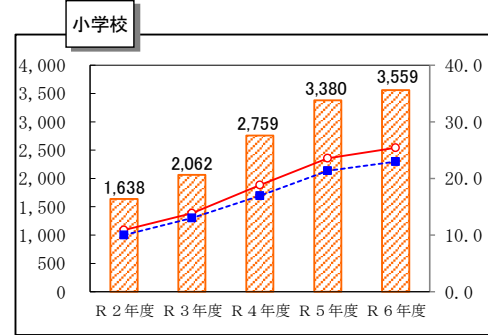
（注） 1,000人当たりの長期欠席児童生徒数は、小数第二位を四捨五入している。

不登校

国公立小・中・高等学校（全日制・定時制）における不登校児童生徒数等の年次推移（R2年度～R6年度）

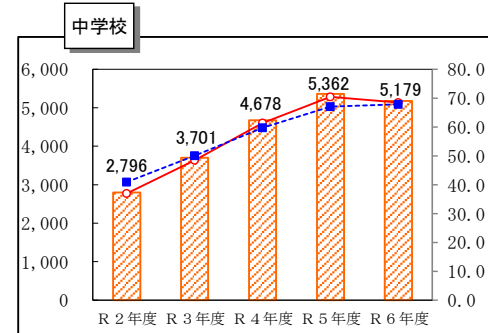
小学校

区 分	不登校児童数	1,000人当たりの不登校児童数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)
令和2年度	1,638	10.9	10.0
令和3年度	2,062	13.9	13.0
令和4年度	2,759	18.8	17.0
令和5年度	3,380	23.6	21.4
令和6年度	3,559	25.4	23.0



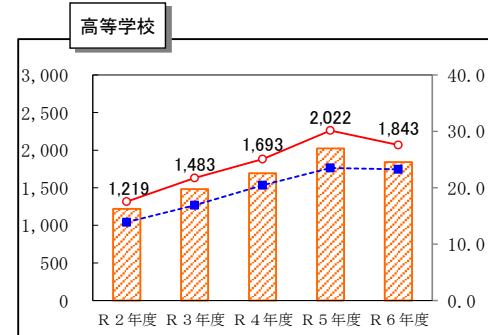
中学校

区 分	不登校生徒数	1,000人当たりの不登校生徒数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)
令和2年度	2,796	37.0	40.9
令和3年度	3,701	48.5	50.0
令和4年度	4,678	61.4	59.8
令和5年度	5,362	70.4	67.1
令和6年度	5,179	68.5	67.9



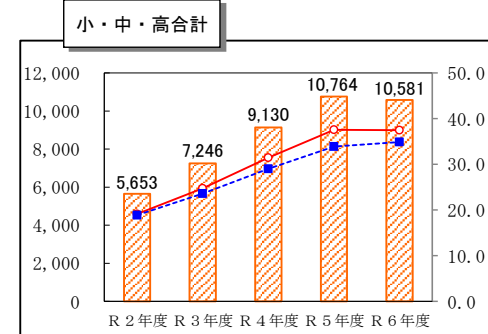
高等学校

区 分	不登校生徒数	1,000人当たりの不登校生徒数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)
令和2年度	1,219	17.5	13.9
令和3年度	1,483	21.7	16.9
令和4年度	1,693	25.1	20.4
令和5年度	2,022	30.1	23.5
令和6年度	1,843	27.6	23.3

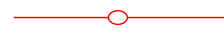


小・中・高合計

区 分	不登校児童生徒数	1,000人当たりの不登校児童生徒数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)
令和2年度	5,653	19.1	18.9
令和3年度	7,246	24.7	23.6
令和4年度	9,130	31.5	29.0
令和5年度	10,764	37.6	33.9
令和6年度	10,581	37.5	34.9



※ 凡例共通

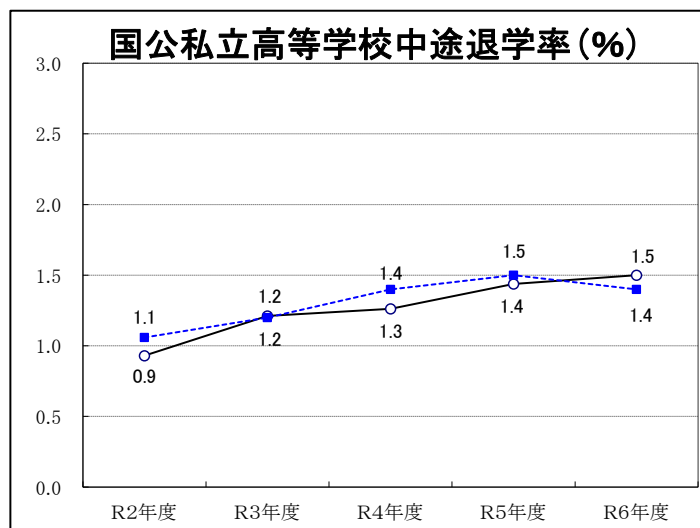
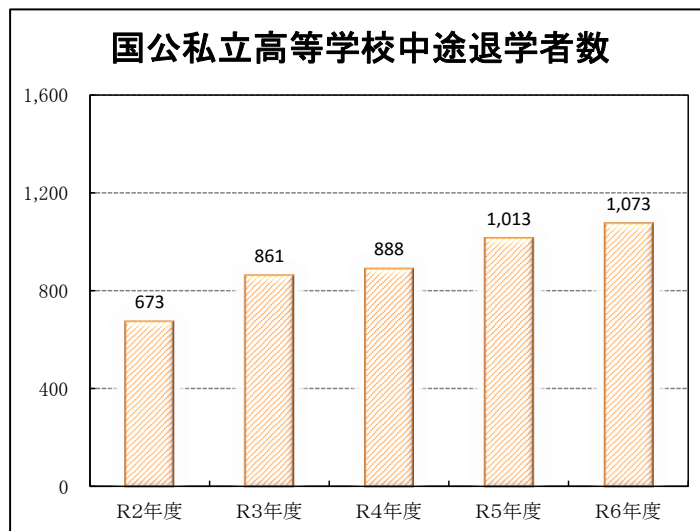
-  広島県（国公立）〈不登校児童生徒数〉
-  広島県（国公立）〈1,000人当たりの不登校児童生徒数〉
-  全 国（国公立）〈1,000人当たりの不登校児童生徒数〉

(注) 1,000人当たりの不登校児童生徒数は、小数第二位を四捨五入している。

中途退学

国公立高等学校（全日制・定時制・通信制）における中途退学者数等の年次推移
（R2年度～R6年度）

年度	中途退学者数	中途退学率（％）	
	広島県 （国公立）	広島県 （国公立）	全国 （国公立）
令和2年度	673	0.9	1.1
令和3年度	861	1.2	1.2
令和4年度	888	1.3	1.4
令和5年度	1,013	1.4	1.5
令和6年度	1,073	1.5	1.4



※ 凡例共通

—○— 広島県（国公立）〈中途退学率〉
- - -■- 全国（国公立）〈中途退学率〉

（注） 中途退学率は、小数第二位を四捨五入している。